

わがまちの地域包括支援センター

①「地域包括支援センターとは」

市では、高齢者の支援を介護高齢課、地域包括支援センター、健康推進課の3つの課を中心に、各関係機関などの協力をもとに、役割分担や共有を図りながら取り組んでいます。

その中の、「地域包括支援センター」は、高齢者が住み慣れたまちで、

今月号から、「地域包括支援センター」における高齢者のためのサービスや事業などを紹介していきます。

地域包括支援センターでは、どんなことをしているの？

高齢者支援の各役割と主な業務内容

在宅介護支援センター
高齢者の相談など

介護高齢課

介護保険等に関する総括の役割

- 介護保険事業計画
- 介護サービス基盤の整備
- 介護保険料（決定、通知 など）
- 介護保険サービス
- 市独自高齢者福祉サービス
- 生きがいづくり支援（高齢者バス乗車証、敬老祝金・品、高齢者証など）
- 高齢者の見守り体制 など

地域包括支援センター

高齢者への実際の支援等

- 総合相談・権利擁護
- 虚弱高齢者の把握
- 介護予防サポーター養成
- 虚弱高齢者や要支援者へのプラン作成
- 地域の連携づくり
- 認知症サポーター養成
- 要介護認定の受け付け など

健康推進課

健康づくりや介護予防

- 介護予防事業（運動教室、栄養教室、健口（口腔）教室）
- 介護予防に関する普及啓発
- 各種検診
- 健康相談
- 健康教育 など

地域包括支援センターでは、専門の職員を配置しています！

専門の職員が、来所や電話、訪問にて対応しています。安心してご相談ください。



保健師

介護予防計画や介護予防相談に関すること



社会福祉士

総合相談や権利の相談に関すること



主任ケアマネジャー

事業所や介護支援専門員などの支援

「足腰が弱って一人で風呂に入れなくなった」、「一人暮らしや老夫婦のみの生活に不安がある」など生活や介護に関する相談を受けています。その解決等

■総合相談

地域包括支援センターは、大きく分けると、おもに6つの業務等を行っています。

■介護予防の推進

要支援・要介護状態にならないための取り組みをしています。

具体的には

- 足腰の衰えや栄養状態の低下など、生活機能の低

- 〈在宅介護支援センター〉
- 中央地区在宅介護支援センター（中央4）
 - 東地区在宅介護支援センター（潮見3）
 - 南地区在宅介護支援センター（栄1）
 - 宝来地区在宅介護支援センター（宝来2）

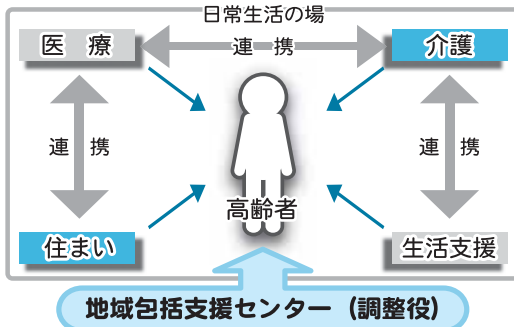
■地域の連携体制づくり（包括的・継続的マネジメント）

保健、福祉、医療などの他の職種と連携し、様々な支援を包括的（総合的）に提供します。

入院や施設入所となった場合でも、在宅復帰を支援したり、よりよいサービスが受けられるよう介護支援専門員（ケアマネジャー）等の支援を行います。

また、住み慣れた地域で自分の状態に応じ、自立した生活が営めるよう「介護」、「医療」、「生活支援」、「住まい」の4つのサービスやボランティアなどの「人的・物的社会資源」を活用したサービスを一体化して提供する

【地域包括ケア体制の簡単なイメージ図】



「地域包括ケア」体制の調整役を担います。

■高齢者の権利を守ります

高齢者虐待への対応、悪質な訪問販売等による消費者被害の防止、成年後見制度の活用などの支援を行います。

■認知症サポーター養成

認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族の方を見守り応援する認知症サポーターを養成します。

■要介護認定の受け付け

介護（介護予防）サービス等が必要になった時の要介護（支援）認定の申請は、地域包括支援センターにおいて受け付けています。

申請後、認定調査や主治医意見書をもとに、介護認定審査会の判定を受け、

要介護度

要支援1	介護予防サービスが受けられます
要支援2	
要介護1	介護サービスが受けられます
要介護2	
要介護3	
要介護4	
要介護5	
非該当	介護（介護予防）サービスは受けられません

介護度（非該当、要支援1～2、要介護1～5）が決定されます。

※非該当の方には介護予防事業を勧めています。
※市介護高齢課でも、認定申請の受け付けを行っています。

問い合わせ／市地域包括支援センター 包括支援グループ
☎ 23-8585



地域包括支援センターは保健福祉センター2階にあります

次回は、「総合相談」の具体的な内容をお知らせします。